



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2020年
10月号
(第51号)

今月のことば

「チャレンジして失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れろ」 本田宗一郎 (小早川選)

2020～2021年度 主題

クラブ会長 深尾香子「寄り添おう！青春。学ぼう！高齢化。」

東新部部长 加藤義孝(東京)「友情の絆を強め、YMCAを支えよう」

東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩)「変化を楽しもう！」

アジア太平洋地域会長 David Lua (シンガポール)「変化をもたらそう」

国際会長 Jacob Kristensen (デンマーク)「価値観、エクステンション、リーダーシップ」

《クラブ役員》会長 深尾香子 副会長 伊藤幾夫 直前会長 石田孝次

書記 小早川浩彦 副書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野実

(当クラブは、多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です)

今月の強調テーマ EMC/E (Extension, Membership&Conservation): クラブ拡張 YES (Y's Extension Support): 新クラブ設立活動支援基金


10月例会プログラム

日時: 10月6日(火) 19:00～20:30

会場: ZoomによるWEB開催

司会: 小早川浩彦

- * 開会挨拶 深尾香子会長
 - * 今月のことば 小早川浩彦
 - * ゲスト/ビジター紹介 会長
 - * 会長挨拶
 - * ビジタースピーチ 板村哲也
「主題の出どころと込めた思い」
 - * プランター栽培トライアル3回目 藤田智
 - * チーム報告(農園、多摩社協、シェアインド)
 - * YMCA ニュース・連絡等
 - * メンバー近況報告
 - * ハッピーバースデー/アニバーサリー
 - * 閉会挨拶 会長
- (WEB開催のため構成を一部省略しています。)



2013年4月より務めてきた東京YMCAにほんご学院から、2020年4月に東京YMCA医療福祉専門学校へ異動になり、早半年が過ぎました。コロナ禍は、学校運営にも大きく影響し、「学生と教員の距離が近い」「膝と膝を突き合わせて共に学び合う」といった、これまでの医療福祉専門学校の特徴とは180度異なる運営を迫られることになり、学校職員全員が「初めて」尽くしの半年間でした。さて、日本語学校から医療・福祉の業界へ。一見、異なる業界ですが、実はこの二つは、とても近い存在です。2017年から外国人に「介護査証」が新たに発給され、介護業界で就労できるようになったためです。今や2,000人を超える外国人留学生が、全国の介護福祉士養成校で学んでいます。東京YMCAも介護福祉科の約半数が外国人留学生です。介護査証取得のためには「介護福祉士国家資格試験」に合格する必要がありますが、外国人留学生の合格率は36～38%と、6割以上が合格できていないのが現状です。「養成校卒業後5年は国家資格に合格しなくても就労可能」など、いくつかの緩和措置は取られていますが、まだまだ外国人が働くにはハードルが高いです。日本語学校での経験を活かしながら、「共に生きる社会」を目指していきたいと思っています。(小野実)

10月のHappy Birthday / Happy Anniversary

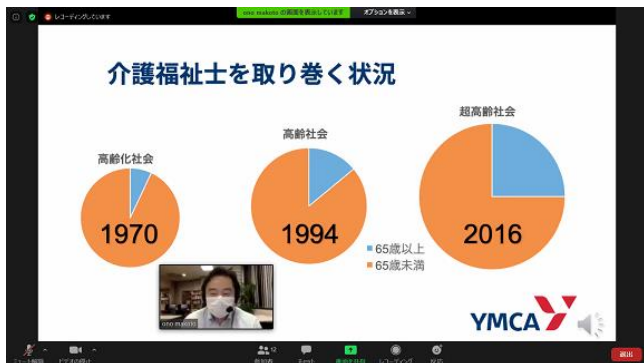
《誕生日》綿引康司(14日)

《結婚記念日》該当者なし

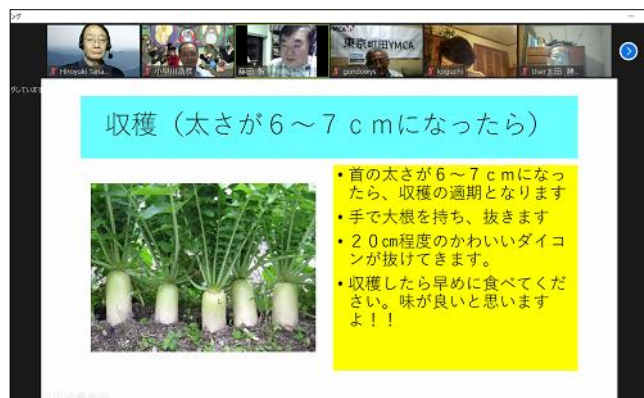
9月例会	在籍12名 (内広義会員1名) 例会出席13名	出席内訳	メンバー		BF		ファンド		
			8名	0名	切手	0g(今年度累計)	0g	オークション	0円
			0名	73%	使用済み切手、少しでもご持参ください			(今年度累計)	0円
			0名		ぽんぽこファンド	0円		スマイル	0円
			5名		(今年度累計)	0円		(今年度累計)	0円

9月例会報告

9月1日(火) 19:00から、例会がZoomにて開催されました。今回は東京世田谷、東京町田コスモス、東京町田スマイリング、東京八王子の4クラブから、計5名の方にビジターとして参加いただきました。久しぶりに行われたメンバースピーチでは、4月に東京YMCA医療福祉専門学校校長に異動となった小野さんが、介護福祉士の仕事や業界状況を語られました。



また、当クラブの新たな取り組み「プランター栽培トライアル」の第1回目が開催され、プランターを使ったミニ白菜とミニ大根の栽培について、藤田さんにご説明いただきました。終了後の質問コーナーでは、使用する農薬の種類など、参加者から多くの質問も寄せられました。(小早川記)



《出席者》「メンバー」8名：石田、伊藤、小野、小早川、田中、深尾、藤田、綿引、「ビジター」5名：朝倉(東京世田谷)、権藤、松香(東京町田コスモス)、太田(東京町田スマイリング)、小口(東京八王子)

9月第2例会(運用会議)報告

9月7日(月) 19:00から、第2例会がZoomにて開催されました。審議事項では、プランター栽培講座の担当役割を整理した他に、「YMCA西東京センター障害児クラスのチャリティラン出走費用の支援金負担」について議論が行われました。本件は、これまで費用を分担されていた東京武蔵野多摩クラブおよび東京八王子クラブから打診を受けたものです。今年度はコロナ禍でYMCA支援が充分できなかった現状を踏まえ、最終的に3万円を当クラブから負担することになりました。(小早川記)

《出席者》6名：石田、伊藤、小早川、田中、深尾、綿引

今月のスピーカー

板村 哲也 さん
東日本区理事



《タイトル》
「主題の出どころと込めた思い」
《プロフィール》

2016年2月に東京武蔵野多摩クラブ入会、クラブ会長、東日本区書記、Change! 2022 推進委員、国際・交流事業主任等を経て、2020年7月から理事に就任

《スピーチ概要》
東日本区理事主題「変化を楽しもう!」について、なぜその主題にしたかという、主題の少し奥をご説明したいと思います。

新たな東新部大会を体験してください!

10月10日の開催に向けて、9/25現在で60名を超える参加の声が集まっているそうです。今年はリアル参加と、オンライン参加の選択が出来るので、今まで、多摩エリアからは遠いなと思っていたメンバーも手を挙げて、気軽に接続して参加して下さい。今のところリアル、オンラインはほぼ半数らしく、有り難く思っています。9/28(月)には、当日に向け事務局はZoom-MTGを予定しています。パソコンやカメラの導入も含んだ技術的な問題を含め、今まで以上にやる事は沢山ありますが、その度に協力者が現れ、ひとつずつが楽しい挑戦です。果たして、当日はどんな事になるか、ぜひぜひ体験して下さい!

(第24回東新部大会実行委員長 深尾記)

10月強調月間「EMC/E、YES」について

EMC/Eとは、Extension(新クラブ設立推進)、Membership(会員増強)、Conservation(維持啓発)の中で、特にEを強調していることを示しています。YESとはY's Extension Supportのことで、新クラブ設立を資金面で支援します。具体的には、設立のために10万円が支援されます。さらに、今期はChange! 2022プロジェクトからも10万円が支援されます。新クラブ設立には、準備にたくさんの労力(奉仕)と時間が要されます。また、準備会の会場費、資料印刷等々、出費もかさむため、支援金がモチベーションの高まりの一助となることは確かです。昨年度からスタートした東日本区Change! 2022プロジェクトは、2022年までに会員を1,246名(今年7月1日時点830名)にしようという目標を掲げています。昨年度は新型コロナウイルスの影響もあり、会員19名減少という厳しい現実となりました。しかし、このような中でも、千葉ウエストクラブが10月3日(土)にチャーターナイトを迎えます。素晴らしいことです。このチャーターは、私たちに希望を与えてくれます。わがクラブも設立5年目。「会員増強」を強く意識する年度にしましょう。(伊藤記)

ペタペタの会ご案内

東京 YMCA 西東京コミュニティーセンター主催の「ペタペタの会」が、11月15日(日)に国営昭和記念公園にて開催されます。「ペタペタの会」は、多摩地域内の各地をのんびりと(ペタペタと)歩いて、健康増進、地元を知ること、東京 YMCA に繋がる会員・ワイズの親睦を深めること、そして、一般の参加者も募って YMCA を広く知ってもらおうという目的のウォーキングプログラムです。毎年、春・秋に開催していて今回で14回目となります。

国営昭和記念公園内を散策して、見頃のイチョウ並木、紅葉などを楽しみ(下の写真は、去年の11月中旬の様子です。)、また、同公園主催の「ニュースポーツ体験 DAY」にも参加します。ウォーキング終了後には公園に隣接してこの春にオープンした「たましん美術館」(館長・綿引さん)も見学します。



集合は9時半に公園の西立川口(青梅線・西立川駅下車すぐ)、解散は15時半頃の予定です。お弁当、敷物、マスクをご持参ください。コースは、ほぼ平坦で、スポーツ中を除いて6-7千歩の行程となる見込みです。ご家族、ご友人もぜひお誘いください。参加申し込みは、田中までメールまたはお電話で。クラブメンバーは、「ぐるうぷすけじゅ〜る」に力してください。



(西東京コミュニティーセンターサポートチーム 田中記)

プランター栽培講座トライアル

9月1日(火)の例会のメインプログラムとして新企画となるプランター栽培講座の第1回目の講座がスタートしました。例会には、他クラブからのゲストを含め13名が参加し、内10名が講座の受講者でした。



Zoomでの参加が叶わない受講者3名を含む計13名が、藤田先生のレクチャーや資料を基に、計5回のプランター栽培に挑戦することになります。

初回は、「種」で植え付ける野菜の代表格としてミニ大根と「苗」で植え付けるミニ白菜を別々のプランターに植え付けます。受講後、各参加者が見様見真似で自宅のプランターに植え付けを実践します。素人集団ならではの頓珍漢な質問や真剣な質問もあって、熱気が感じられ、盛り上がるの様子がPC画面からでも十分伝わってきました。また、15日(火)の第2回目の講座では、芽を出した大根の葉、白菜の元気な写真を見ながら指摘を受け、新たにシュンギクの植え付け方法について丁寧な指導を受けました。

第1回目のミニ大根とミニ白菜は、順調に生育して、間引きの時期を迎えています。(石田記)



<トライアル残り開催日>

第3回: 10月6日(火) (例会内)

第4回: 10月20日(火)

第5回: 11月3日(火) (例会内)

ぽんぽこ農園便り

9月11日午後3:45にぽんぽこ農園に集合し、大根とラッキョウの作付け作業を終えました。本来は、じゃがいもの植え付け作業を予定していましたが、種芋が手に入らず、急遽ラッキョウの球根を植え、じゃがいもは、日を改めて作業をすることになりました。



前回の失敗の教訓として、今回は、畑の土の状態にこだわり、ミニ耕運機を持ち込み、代わる代わる操作し、掘り起こしの深さ、土の柔らかさ、酸素と養分をたっぷり入れることを意識しました。整地作業、肥料散布、縄張り、畝作り、種の位置決め、植え付け、水やりの全工程は、汗だくの作業でしたが、不安定な空模様の中、雨に降られることもなく、1時間強の作業は無事終了しました。



この先、2~3週間は、毎日水やりが必要です。当番を決めて見守ります。作業のため集まってくれた藤田さん、田中さん、井上さん、そして友の会の佐々木さん、ありがとうございました。1週間後には、防虫用のネット張り作業も終わるので順調な生育を願うばかりです。里芋、ジャガイモと共に収穫の暁には、近隣クラブとの合同例会（食事会）を企画し、本場スリランカのカレーを満喫したいと構想は膨らみます。

（石田記）



これからの予定

- ・10月10日(土) 東新部大会
- ・10月12日(月)19:00～ 9月第2例会 (Zoom開催)